

## E. coli由来コレステロールエステラーゼ、組換え

Cat. No. DIA-405

Lot. No. (See product label)

### はじめに

#### □明

コレステロールエステラーゼは、加水分解酵素のファミリーに属し、特にカルボン酸エステル結合に作用するものです。この酵素クラスの系統名はステリルエステルアシルヒドロラーゼです。この酵素は胆汁酸の合成に関与しています。

#### 別名

コレステロールエステラーゼ; コlesteryl ester synthase; トリテルペノールエステラーゼ; コlesteryl ester; コlesteryl ester synthase; EC 3.1.1.13; コlesteryl ester synthase

### 製品情報

#### 種

大腸菌

#### 由来

E. coli

#### 外観

淡い黄色の凍結乾燥物

#### EC番号

EC 3.1.1.13

#### CAS登録番号

9026-00-0

#### 分子量

ca. 54 kDa

#### 活性

> 5 U/mg 凍結乾燥物

#### pH安定性

5.0-10.0

#### 最適pH

5.5-7.0

#### 熱安定性

50°C未満

#### 最適温度

40°C

#### ミカエリス定数

1.9 x 10^-5 M (コレステロールリノレート)

#### 構造

54 kDaのモノマー (SDS-PAGE)

#### 特異性

コレステロールリノレート (100)、コレステロールアセテート (2)、コレステロールオレート (98)、コレステロールパルミテート (74)、コレステロールステアレート (68)、コレステロールアラキドネート (46)

#### 安定化剤

スクロース

#### 単位定義

1単位 (U) は、37°CおよびpH 6.0で1分あたり1μmolのコレステロールを生成する酵素の量として定義されます。